

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221422067	臨床栄養学 I Clinical Nutrition I	林 明日香	✓		2	必修	2後期
<b>科目の概要</b>							
この科目は、DP2・3・4・5・6に記載されている、管理栄養士に必要な専門的知識・技能を修得し、治療の到達点や目標が理解できるよう、疾患の特徴から栄養食事療法のポイントを学ぶ。授業は、栄養ケア・マネジメントの概要、代謝内分泌疾患、肝臓疾患、消化器系疾患、循環器疾患、腎臓疾患を取り上げ、栄養管理の基本について学ぶ。担当教員は教育機関・病院にて管理栄養士を35年間務め、栄養指導や栄養・給食管理業務の経験がある。この授業は実務経験を活かした講義を行う。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 疾患の定義、病因・病態を学修する。 ② 栄養食事療法の基本を学修する。 ③ 疾患別の栄養ケアから、食事療法のポイントを学修する。				① 疾患の定義、病因・病態の特徴を理解している。 ② 栄養食事療法の基本を把握し、栄養食事療法に繋げることができる。 ③ 疾病別の食事療法を理解し、献立作成時に留意できる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	積極的に授業に臨み、課題を主体的に取り組むことができる。					
	働きかけ力	周囲に働きかけをしながら協力し学修することができる。					
	実行力	疾患別診療ガイドラインに基づいた栄養管理を実行できる。					
考え抜く力	課題発見力	自ら課題発見をしながら、自己研鑽することができる。					
	計画力	計画的に課題を見直し、栄養管理の基本を学修できる。					
	創造力	創造力を発揮しながら、傷病者の栄養状態をアセスメントできる。					
チームで働く力	発信力	必要に応じて、発信力を発揮しながら、その時々に必要な情報を得ることができる。					
	傾聴力	傾聴力を発揮しながら授業を受けることで、総合的な学びに繋げることができる。					
	柔軟性	柔軟性を発揮しながら、栄養管理に繋げることができる。					
	状況把握力	状況を把握しながら、自分の弱い部分を強化し学修できる。					
	規律性	規律性を保ち、期日内に課題を提出することができる。					
	ストレスコントロール力	ストレスの状況にあっても、常に平常心で物事に対応できる。					
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：エッセンシャル 臨床栄養学 第10版 佐藤和人 本間健 小松龍史編 医歯薬出版 ワークシート：課題シートをgoogle classroom内に用意します。							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
「臨床栄養学Ⅰ」で獲得した知識・技術は、後に学ぶ「臨床栄養学Ⅱ・Ⅲ」、「臨床栄養学実習」、「栄養評価管理実習」に関連付け、理解を積み重ねる。 資格との関連：管理栄養士、栄養士、食品衛生管理者・監視員、栄養教諭							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
毎回授業の予習を行い、今まで習った知識を復習で整理しながら授業に臨むこと。 また、この授業は「臨床栄養学Ⅱ・Ⅲ」「臨床栄養学実習」「栄養評価管理実習」に繋がる科目となっているため、授業内容が身についているか、小テストで随時確認します。				<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻3回は1回欠席扱いとします。</li> <li>課題は期日内に提出が完了していること。</li> </ul>			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	75	①	✓	到達目標の①②③について理解しているか確認します。 社会人基礎力を含め評価し、S：90%以上、A：80～89%、B：70～79%、C：60～69%、F：60%未満として総合的に判定します。  知識の獲得：80% 知識の活用：10% 知識の解決：10%		
			②	✓			
			③	✓			
	学修成果	小テスト	5	①	✓	小テストは毎回実施し、知識の定着状況を確認します。  知識の獲得：50% 知識の活用：50% 知識の解決：0%	
				②	✓		
				③	✓		
		学修成果	レポート	10	①	✓	授業課題の提出状況と内容から総合的に評価します。  知識の獲得：0% 知識の活用：50% 知識の解決：50%
					②	✓	
③					✓		
学修成果			成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①		
					②		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）積極的に授業に取り組み、課題を主体性に取り組める。 （実行力）疾病別診療ガイドラインに基づいた栄養管理を実行できる。 （課題発見力）自ら課題発見し、自己研鑽することができる。 （創造力）創造力を発揮しながら、傷病者の栄養状態をアセスメントできる。 （発信力）必要に応じて、発信力を発揮しながら、必要な情報を得ることができる。 （傾聴力）傾聴力を発揮しながら、総合的な学びに繋げることができる。 （規律性）規律性を保ち、期日内に課題を提出することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
疾患の定義、病因・病態の基本を理解し、栄養食事計画に活用できる。筆記試験及び社会人基礎力が共に優れている者をS（秀）とする。	疾患の定義、病因・病態を理解し、栄養食事計画をひとり実践できる。また、疾患別栄養管理計画を標準的なレベルまで理解しているものをB（良）とし、十分ではないが課題を期日までに提出しようとし、ほぼできている者をC（可）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	臨床栄養学の意義と目的 医療制度の基本を学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	臨床栄養学の目的を理解している。	(予習) テキストp333～, p349～を読みまよめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まよめる。	180	主体性 働きかけ力 傾聴力 状況把握力
2	栄養ケア・マネジメントの概念 栄養アセスメントを学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題シートのフィードバック	栄養ケア・マネジメントの概要と栄養アセスメントについて理解している。	(予習) テキストp367～, p371～を読みまよめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まよめる。	180	主体性 傾聴力 柔軟性
3	栄養補給法 経口栄養法、経腸栄養法、経静脈栄養法の適応を学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	栄養補給法の種類について理解し、選択できる。	(予習) テキストp411～を読みまよめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まよめる。	180	主体性 計画力 傾聴力
4	代謝内分泌疾患① 肥満症、高尿酸血症の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題シートのフィードバック	肥満症、高尿酸血症の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) テキストp67～, p83～, p77～, p101～を読みまよめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まよめる。	180	課題発見力 創造力
5	代謝内分泌疾患② 脂質異常症、動脈硬化性疾患の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	脂質異常症、動脈硬化性疾患の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) テキストp70～, p90～, p106～, p124～を読みまよめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まよめる。	180	課題発見力 創造力
6	肝臓疾患① 急性ウイルス肝炎、慢性肝炎の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	急性ウイルス肝炎、慢性肝炎の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) テキストp40～, p54～を読みまよめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まよめる。	180	課題発見力 創造力
7	肝臓疾患② 肝硬変の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	肝硬変の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) テキストp45～, p55～を読みまよめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まよめる。	180	課題発見力 計画力 創造力
8	消化器疾患① 肝癌、脂肪肝、胆嚢炎、膵炎、胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、胃癌の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	肝癌、脂肪肝、胆嚢炎、膵炎、胃食道逆流症、胃・十二指腸潰瘍、胃癌の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) テキストp46～, p47～, p60～, p49～, p61～, p51～, p64～, p4～, p16～, p7～, p18～, p9～, p250～を読みまよめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まよめる。	180	課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	消化器疾患② 炎症性腸疾患の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ 循環器疾患① 高血圧症の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	炎症性腸疾患の病因・病態と栄養食事療法を理解している。 高血圧の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) テキストp12～, p29～, p108～, p125～を読みまとめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まとめる。	180	実行力 発信力
10	循環器疾患② 高血圧症(続き)と心疾患の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	高血圧症(続き)と心疾患の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) テキストp111～, p128～を読みまとめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まとめる。	180	実行力 発信力
11	循環器疾患③ 脳卒中・摂食嚥下障害の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題シートのフィードバック	脳卒中および摂食嚥下障害の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) テキストp118～, p132～を読みまとめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まとめる。	180	実行力 発信力
12	腎臓疾患① 慢性腎臓病(CKD)、糸球体腎炎の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	慢性腎臓病(CKD)、糸球体腎炎の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) テキストp149～, p164～を読みまとめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まとめる。	180	実行力 発信力
13	腎臓疾患② ネフローゼ症候群、腎不全、糖尿病性腎症の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	ネフローゼ症候群、腎不全、糖尿病性腎症の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) テキストp155～, p172～を読みまとめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まとめる。	180	主体性 規律性
14	代謝内分泌疾患① 糖尿病の病因・病態と栄養食事療法について学ぶ	講義 google formsによる小テスト google classroomでの課題フィードバック	糖尿病の病因・病態と栄養食事療法を理解している。	(予習) テキストp75～, p96～を読みまとめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まとめる。	180	主体性 実行力 規律性
15	代謝内分泌疾患② 糖尿病性腎症、腎不全の病因・病態と透析を含む栄養食事療法について学ぶ 透析の栄養食事療法の復習	講義 google classroomでの課題のフィードバック	糖尿病性腎症、腎不全、急性腎障害(AKI)の病因・病態と透析を含む栄養食事療法を理解している。	(予習) テキストp156～, p174～, p159～, p178～を読みまとめる。 (復習) 授業動画をみて振り返る。課題シートを整理し、まとめる。	180	主体性 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力